



深海 三恵

呼吸器内科のポリクリとして国立病院機構和歌山病院で実習させていただきました。和歌山病院では他の病院ではなかなか見ることができない結核病棟を初めて見学させていただきました。また、入院中の実際の結核患者さんとお会いし、投薬指導の現場も見せていただくことができました。結核に関するセミナーも開いていただき、結核とはどのような病気なのか、どのような対策が必要か、といったことを実臨床に基づいて教わることができました。結核は危険な病気だが、病気に関する正しい知識に基づいてしかるべき処置をとれば、過剰に忌避すべき病気ではなく、十分に対処可能な病気なのだとわかりました。大切なのは、医療従事者が正しい知識を保有し常に然るべき対応をとることなのだと思います。また、南方院長からは画像の読み方を熱心に教えていただくことができ、貴重な学習の機会となりました。院長の、気付きを与えるような丁寧な指導のおかげで、画像の基本的な原理や仕組みについてじっくりと考え、理解に至れたと思います。今後も画像を勉強していくうえで、この根本的な考え方が非常に役立つと考えます。

その他、多くのスタッフの方にお世話になり、非常に快適な実習期間を過ごすことができました。27年ぶりの大雪という悪天候の中でスタートした実習でしたが、それを吹き飛ばすほどの充実した期間でした。本当にありがとうございました。